



# 海区別の取組方針

## 吉岐海区

- 漁業種類の多角化による経営安定化
- 漁獲物のブランド化や1次加工推進による魚価の安定・向上
- 販路開拓と働く場の確保 体験型漁業への取組 など

## 対馬海区

- 漁獲物の規格統一などによる価格向上
- 地産地消の推進
- 養殖用餌料安定供給体制の構築
- 韓国向けの効率的な輸出の展開 など

## 大村湾海区

- 漁場環境改善への取組
- 種苗放流などによるナマコ資源の増殖
- 貝類養殖への新規参入 販路開拓 など

## 有明海海区

- 海底耕耘などによる漁場機能の保全・回復
- 放流事業の推進
- アサリ漁場の底質改善
- アサリ垂下式養殖の取組
- カキ養殖技術の高度化 など

## 県北海区

- アジ類などの養殖用種苗採捕
- 漁獲物取扱改善などによる付加価値向上
- 就労環境改善による定置従事者の確保
- トラフグ養殖における収益性重視の生産体制の構築
- 水産加工業における拠点市場と連携した生産・加工・販売体制の構築 など

## 五島海区

- 漁獲物の鮮度保持などによるブランド化 流通体制の改善
- 複合養殖の取組 地元漁業との連携による養殖用餌料の安定確保 など

## 西彼海区

- 漁獲物の高鮮度化
- 加工業者の協業化促進
- 養殖魚のブランド化 など

## 橘湾海区

- 海底耕耘などによる漁場機能の回復
- 放流適地へのヒラメ、クマエビ種苗の放流
- 養殖飼育作業のグループ化
- 赤潮観測体制の強化 など

